
人を殺したいと思うのは健全な精神にすべきだ

普通のシー様（冷凍済み）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人を殺したいと思うのは健全な精神にすべきだ

【Nコード】

N2401Q

【作者名】

普通のシー様（冷凍済み）

【あらすじ】

人を殺したいと思うのは健全な精神にすべきだ

今日、夢の中で幼稚園の頃の担任の先生に会った。
先生はオイラの事を諭そうとしていた。

実はオイラ子供の頃、女子に暴力を行って弱い者を傷付けて問題にされたのね。その際、先生は言った。

「君の手は誰よりも大きいのだから小さい子を殴たら凄く痛いものよ」
なるほど納得。確かに殴るのでは被害者に証拠が残ってオイラは攻められる。

だからオイラは言葉攻めで人を虐める事にしたのね。

苦痛に歪む泣き顔を見たいから、ついやったのね。

でも、また攻められた。

「虐めは良くない」って皆が口々にそろえて攻めて来るから、怖かったな・・・

だからオイラは虐めに見えない様に、自分が関与した証拠さえ拳がらない様に悪さしたね。

例えば連絡帳を隠したり、上履きを隠したり、そうやって誰かの泣き顔を見て楽しんでた。

そんなある日、面白い奴に出会った。

そいつは、なぜだか知らんがオイラの罪を自らの罪として被った。

「先生！ 連絡帳隠したのは僕です！」

率先して先生の前に出た奴はアホかと、何を考えてるのかさっぱり判らんかったね。

先生に『なんでこんな事したの？』と理由を聞かれた後、直に泣くのね。

『本当は僕してない』と言いながらピーピーわめくものだから、めっちゃ面白かったね。

今まで全然意味が判らんかったけど最近、その行為の意味が判ったのね。

合理的に考えたら、凄く簡単な答えだったのね。

あの時、先生は連絡帳が見つからなくて、物凄くヒステリーになっていた。

探すのに労力を使つて、子供が子供への嫌がらせをしたというより、自分が子供に嫌がらせをされてる様に思ったのかもしれない。

先生は誰が隠したかを責任追求する為に、クラスの園児全員を集めて名乗り出る様に催促した。

でも、誰も名乗り出る事は無かった。

そりゃそうだ。犯人はオイラだもんね。

だから、皆つかれてた。永遠と地べたに座らされてケツが痛かったから、早くこの問題を解決して欲しいと思つてた。

だから、そいつ犠牲になったのだと思う。

誰か一人が罪を被れば、皆の苦しみが開放されると思つたのだと思う。

先生自身も「正直に名乗り出れば許す」と、やわらかい口調と表情だったから罪を被つても大丈夫だと、そいつは思つたのかもしれない。

でも、ソイツが名乗り出た途端、先生の優しい顔が真剣になって、怖い表情をしたのね。

だから、そいつビビッて泣いたのだと思う。

許されると思つてたが叱られると思つて恐怖したのだと思う。

正義という精神だろうが、オイラはそれが大嫌いだ。

正義を振りかざされて何時もオイラは、のけ者にされるし、正義を振りかざす者は、いつも皆から優しくされる。

オイラは人の苦痛と恐怖に歪んだ顔を見たいのだから、しょうがないんだよ。

人の喜んでる顔を見るのが気持ち悪いと感じるのだから、綺麗ごとでも正義な行いだってできやしない。

最近、人に認めて貰いたいから我慢して善行したけど、やっぱり無理だった。

どうしても喜ばれる顔がイメージとして見えて苦痛なのね。もうどうして良いか判らないや。

オイラは自分が異常者であることを十分自覚した。もう、これでいいでしょ。あとは世間が少しばかりオイラに譲歩して理解を示して優しくする番になるべきと思うよ。

人殺しを認めるなんて無茶は言わんから、せめて『人を殺したいと思うのは健全な精神』として広めて欲しいよ。

オイラ精神障害者かと思って苦悩してたから無駄な時間を損失してしまったの。

世の中には、それに報い欲しい。でなければ本当に犯罪を犯してしまいそう。

『人を殺したいと思うのは健全な精神』を広めてくれたら、ちょっとくらい世界を愛せそうな気がする。

そうなれば、もしかしたら、オイラは皆が求める正常な人になれるのかも说不定い・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2401q/>

人を殺したいと思うのは健全な精神にすべきだ

2011年1月26日05時19分発行